

海南病院 屋上ヘリポートの運用開始について



平成 27 年 4 月、海南病院は新しい外来診療棟をオープンします。同時に建物屋上に設置するヘリポートの運用を開始しますのでお知らせいたします。

1. ヘリポートを設置する目的

ドクターヘリや県防災ヘリコプターによる救急患者の搬送や、重篤な患者の転院搬送、その他幅広い医療搬送に対応するため、専用のヘリポートを設置します。

※海南病院は災害拠点病院の指定を受けており、病院敷地内にヘリポートをもつことが求められています。 屋上ヘリポートはエレベーターで 1 階救命救急センターと直結し、より迅速な救急活動が可能となります。

2. ヘリポートの運用について

(1) 離着陸の回数

1 年間に数回程度の離着陸を想定しています。

ドクターヘリの基地病院ではありませんので、頻繁に離着陸することはありません。

《参考》

- ・愛知県のドクターヘリは 1 機です。愛知医科大学病院（長久手市）を基地病院とし、通常は同病院に常駐しています。

(2) 利用時間

朝 8 時 30 分より、17 時 00 分までです。

日没が 17 時よりも前のときは日没時間までです。通常夜間は利用しませんが、大規模災害などの緊急時には使用できるよう夜間照明設備は備えています。

(3) 離着陸のコース

病院の南方向から進入して着陸し、西方向へ向けて離陸します。

3. ヘリコプターについて

(1) 利用するヘリコプター

主に利用するのは愛知県ドクターヘリです。

県防災ヘリコプター、海上保安庁ヘリコプターも利用することがあります。

愛知県ドクターヘリ



(2) 安全性について

- ヘリコプターの運航にあたっては、安全面が最優先されます。
強風・濃霧・雨天など天候が悪いときは飛行しません。
- 愛知県ドクターヘリをはじめ、当院ヘリポートを利用する予定のヘリコプターはエンジンを2基搭載しており、片方のエンジンが停止しても安全に飛行を続けることができます。

(3) 騒音について

- ヘリポートの近くまで高度を保って接近し、垂直に近い形で着陸。また離陸後は速やかに高度を上げ、地上への騒音を少なくするよう飛行します。
- ヘリポート着陸後は、患者さんの安全な乗降のため、また長時間の騒音を避けるため、速やかにエンジンを停止します。

4. その他

ヘリポートは地域のみなさまにとっても大きなメリットがあります。救急患者の搬送や、重篤な患者の転院搬送のほか、この地域には屋上ヘリポートをもつ施設が他にはありませんので、万一の災害のときにも大変役立ちます。

このヘリポートを活用し、地域の安全と安心を守るとともに、みなさまの期待に応えていきたいと考えています。

